

東京知道会平成 26 年第 2 回幹事会議事録

1. 日時 平成 26 年 6 月 18 日 (水) 18:30 - 20:00
2. 場所 アットビジネスセンター東京駅八重洲通り 604 会議室
3. 議題
 - (1) 平成 27 年度総会「同窓の集い」担当学年(61 年卒)からの報告
 - (2) 各委員会(企画、組織、財務、会報)からの報告
アリスさん講話会に伴う支出の件(謝金、記念品)
 - (3) 茨城県人会のお知らせ
 - (4) 第二回知道会幹事会の報告
 - (5) 人事選考委員会について
 - (6) その他
 - ①西日本水中一高会の会報を受領
 - ②「現役世代の親睦ゴルフ会」のご案内
 - ③他校の同窓会予定

4. 参加者 19 名

5. 議事内容

- (1) 平成 27 年度総会「同窓の集い」担当学年(61 年卒)からの報告

6 月 2 日、学年幹事会を 10 名で発足、こんご月例で会議開催する。各クラス幹事が知道会本部から名簿を入手し、最新のものにアップデートする。7 月 25 日には、上野で学年同窓会を実施する。フェイスブックでは 103 名が参加しており口コミなどアナログな方法でも輪を広げる。横のつながりはクラス幹事、縦のつながりは部活や常陽銀行のつながりも利用する。6 月 21 日には学苑祭で小田部校長を訪問、同窓の集いへの参加をお願い、その後、水戸の幹事メンバーと合流し、協力を要請する予定。集いの講演者は同学年卒 3 人に絞った。

- (2) 各委員会(企画、組織、財務、会報)からの報告

アリス・セツコ・ヒライ講話会は 7 月 5 日(土) 15:30 から AP 東京八重洲通りで開催する。謝金・記念品を用意する。募集は 6 月末まで延ばし集客に努める。夏休みの企画は 8 月 2 日(土) 午前 9:00、JR 市川駅南口集合。東京外環自動車道工事現場及びサッポロビール船橋工場見学の後、昼食。歩く会は 10 月 25 日(土)、筑波山付近で行うが行程は今後詰める。女子グルメの会については、11 月上旬の実施を目指して準備中。

② 組織委員会

名簿搭載人数は 4,753 名、うち、有効人数 4,218 名(会報メール送付会員:273 名)。2013 年 6 月 8 日現在の財務データ反映後のもの。若手交流目的の BBQ は 9 月 6 日(土)または 7 日(日)に葛西臨海公園で実施予定。場所が取れない可能性もあるため都立潮風公園も候補に加える予定。

若手への「繋ぐ」を目指し、幹事学年以降の若手メンバー中心の集まりを予定。東京知道会からのご支援もお願いしたい。平成の会での連絡、ML、HP、SNS他で告知予定。フェイスブックの卒業生のグループページは6月18日現在メンバー数が566名。

③財務委員会

1. 会費と寄付金を合わせた合計額は158.7万円で前年同期比5.1万円減少（但し、減少幅は4月報告時の-15.6万円から縮小）。会費収入は144.6万円で前年同期比+5.7万円増加に転じた。内訳は今年度入金分は前年同期に比べて13.5万円増加し107.1万円、前受金37.5万円。寄付金は14.1万円で前年同期比10.8万円減少。会費・寄付金納入者の延べ人数は513人で前年同期比17人減少（但し、減少幅は4月報告時の-60人から縮小）。今年度実入金者数は377人（会費357人、寄付31人、両方11人）、前受金125人。昭和60～63年卒が27人（前年同期比+6人）、平成卒12人（同+4人）と小幅増加。6月末の自動振替予定人数は244人で、昨年実績比+34人の見込み。65歳以上で過去5年間会費支払のない人（848名）のうち、25人から会費納入あった。

2. 最近の活動状況

6月の自動振替予定者に対して、残高不足による口座引き落とし漏れがないように、メールで確認依頼を発信。7月会報発送時に、今回から発送停止分を、各委員会と協力して準備。水戸知道会と東京知道会の財務状況比較を実施した。

3. 知道会の会費納入状況を踏まえた考察

〈特徴〉 母校支援が主眼の知道会本部（卒業生入会金を160万円受け、母校助成費を112万円支出）と卒業生間の親睦を中心に据える東京知道会は、その目的・構成の違いが収入・支出の有り様に反映している。終身会費制度は制度設計がしっかりし、事務態勢が堅牢であれば問題はないが、一度導入すると容易には変更しにくい。知道会は当面、現制度を継続すべきと考えるが、一定期間経過後、見直す仕組みが必要と思われる。また、会費面では理想的には納入を本部へ一元化し、地方知道会に分配されるのが望ましいが、現実的には東京知道会は独自に会費を集める必要がある。近年の交通・ITの発達による茨城・東京間の「距離」の接近に伴い、そろそろ中長期的視野で新たな会運営を検討すべき時期に来ている。

〈年齢別納入状況〉 東京に比べ水戸は若年層の納入割合が多いことが判明した。地元への進学、就職が多い水戸では若年層の母校・同窓会への帰属意識が高く、逆に東京では低い。高校時代を懐かしんで同窓会を考えるのは東京知道会の幹事学年くらいからであり、幹事学年の前倒しや若者向けイベントが会員の発掘・定着に容易に結びつきにくいと考える。

④会報委員会

第77号発行予定時期は7月20日過ぎ。原稿が集まり細かな編集段階に入った。2Pの同窓の集いの記念講演は木名瀬勝さんの原稿入稿済み。8Pはソフトブレーション・フィールド木名瀬博社長の記事入稿。9Pの母校だよりはシンガポール研修旅行記事を依頼済み。また、地理オリンピックに日本代表で参加する在校生と先生から入手済み。10Pの花見原稿も入稿済み。11Pのアリス・セツコ・ヒライ講話会は世話人の田中朋子さんの原稿入稿済みで、7月5日当日、取材記事も入れる。役員募集記事は1P下に。12PにはH17卒小川瞳さんのリサイクル記事を追加。なお、78

号の先輩訪問はセコム社長に就任した伊藤博氏を予定。

(3) 茨城県人会のお知らせ

7月4日開催。助川会長ほか出席

(4) 第二回知道会幹事会の報告

3月8～13日に実施された母校生徒のシンガポール派遣で参加した生徒(1年生)のうち7人から有益だったとお礼と報告があった。

これを受け助川会長から「有意義な試みなので継続的にやっていきたい。会報掲載や生徒の東京招待も考えたい」との話があった。また、谷田海幹事長から知道会本部の会員の集いの収支、卒業生入会金と母校への支援の比較について説明があった。

(5) 人事選考委員会について

会長指名により同委員会委員10人が決定、第一回会議が行われ(7月9日)、会報、HPで役員を8月いっぱい募集する。

(6) その他

西日本水中一高会の会報「きずな」を受領した。栗田委員から同会報の紹介があった。「現役世代の親睦ゴルフ会」が10月5日(日)、宍戸ヒルズCCで開催される。他校の同窓会では秋田高校東京同窓会が6月28日(土)、日立一高東京同窓会が7月5日(土)に開かれ、谷田海幹事長らが出席。

次回幹事会は26年8月27日(水)、アットビジネスセンター東京駅八重洲通り会議室で午後6時半から開催。

以上